

内閣官房長官 加藤 勝信 殿

北朝鮮ミサイル発射に係る抗議要請

昨日、北朝鮮は弾道ミサイルを発射し、我が国排他的経済水域内に落下させたと推定されることが、本日明らかとなった。

全国の漁業者は、生活の場である我が国周辺水域が弾道ミサイルの脅威にさらされていることに、強い怒りを抑えることができない。

現在、日本海大和堆周辺海域における外国漁船の違法操業の影響を受け、スルメイカを始めとする水産資源が大きく減少しており、漁業者の生活に大きな打撃を与えている中、我が国そのものであり、漁業者の生活の場である我が国排他的経済水域内へ今後も弾道ミサイルが落下することになれば、生命や全ての財産まで失うことになりかねない。

菅総理は、昨日「日本と地域の平和と安全を脅かすもので言語道断だ。厳重に抗議し強く非難する」としたうえで、情報収集と分析に全力を挙げること、航空機と船舶の安全確保、不測の事態に備えて万全の体制を取ることの3点を関係府省庁に指示された。

我々JFグループは、我が国漁業者の操業と命を脅かす北朝鮮の暴挙に対し強く抗議するとともに、政府におかれては、引き続きあらゆる手段を講じて北朝鮮の暴挙を阻止し、漁業者の安全確保に万全を期すよう強く求めるものである。

2021年9月16日

全国漁業協同組合連合会
代表理事会長 岸 宏